

4. 情報の発信や共有化に向けた取組

(1) 4つの農業関係国立研究開発法人による研究成果等の情報発信の取組

被災地の復旧・復興に関し国民・関係者との間で情報共有を図り、連携・協力して被災地支援にあたることや、原発事故に伴うわが国で未経験な分野での科学的知見の提供等を迅速に行うことは、未曾有の災害と向き合い速やかな復興を進める上で欠かせません。

農研機構、農業生物資源研究所、農業環境技術研究所及び国際農林水産業研究センターの4つの国立研究開発法人は、農業・農村関係の幅広い分野の技術開発を担い、関連する専門的な人材を抱える研究機関の特徴を活かし、政府機関のほか、国内外の研究機関、大学、都道府県や市町村などと連携・協力し、研究開発を推進するとともに、復旧・復興に利用可能なこれまでの研究成果を生産現場や地域に伝えるためのシンポジウムや技術相談会などのイベント、インターネットなどを活用した被災地以外の地域とも広く情報を共有するための取組を行ってきました。

これらの具体的な取組は、「被災地に向けた情報発信」と「一般消費者や生産者に向けた情報発信」に区分して、それぞれ時系列に整理しました。

被災地に向けた情報発信（1）

年・月	発 信 内 容
平成23年	地震による被害の点検が必要なため池についての抽出結果を農村振興局防災課に提供（11日、農工研）
3月	放射性セシウム等の環境中挙動に関する過去の研究論文（PDF）をウェブ公開（16日、農環研） 野菜の放射性ヨウ素およびセシウムの分析値の公表（農環研、各県のホームページ）
4月	IAEA報告「チェルノブイリ事故による環境影響とその修復：20年の経験」をウェブで紹介（1日、農環研） 東日本大震災復興支援農工研特設サイト開設（6日、農工研） 「稲の作付に関する考え方」（8日、原子力災害対策本部、農環研意見聴取） 「水稲の晩植栽培における技術的留意点」と関連リンク集を掲載した農業技術情報サイト開設（14日、作物研） 原子力発電所事故等による土壌・農作物の放射能汚染に関する情報ポータル開設（26日、農環研） 「水稲の移植晩限 東日本大震災への対応」ホームページ掲載（28日、中央研・農環研） 農地土壌の放射性セシウムの分析値の公表（農環研、各県のホームページ）
5月	地震による被害の点検が必要なため池についての抽出結果を農村振興局防災課に提供（11日、農工研） 東日本大震災における農地・農業用施設等の技術支援報告会（31日、農工研、於：東京都 東京大学弥生講堂）
6月	お知らせ「福島県飯館村現地ほ場における表土除去試験-（農地土壌の除染技術開発に関する実証試験）のお知らせ-」（10日プレスリリース、13日試験実施、中央研） 「仙台市津波被害水田における試験栽培イネの田植え」（15日田植え実施、16日朝日新聞ほか1紙掲載、TV・ラジオ報道各1件ずつ、作物研） 農地からの除塩に関する技術検討会（24日、農工研、於：仙台市） 福島県川俣町現地ほ場における土壌浄化作物の現地栽培試験（29日播種）のお知らせ（27日プレスリリース、作物研、30日日経ほか4紙掲載） 「リンゴペクチンでセシウム排泄」に関する論文を福島県、農林水産省へ紹介（果樹研）
7月	日本土壌肥科学会緊急シンポジウム「東日本大震災の土壌および作物への影響と今後の課題」（7日、東北研、主催：日本土壌肥科学会、於：盛岡市） 東北農業試験研究推進会議基盤技術推進部会農業経営研究会「大規模な農業災害への対応と農業・農村復興の課題」（27日、東北研、於：盛岡市 東北研） 東北農業試験研究推進会議野菜花き推進部会野菜研究会「震災後の野菜生産の方向を考える - 自然エネルギー利用、省エネルギー対策、作物への放射能の影響-」（28-29日、東北研、於：弘前市）
8月	農業農村工学会シンポジウム-東日本大震災の津波による農地塩害と取組方向-において講演「水田における今後の除塩について」（8日、農工研、主催：農業農村工学会、於：仙台市 宮城県管工事会館） 平成23年度東北農業試験研究推進会議作業技術研究会「震災復興を視野に入れた東北地域の水田農業の技術開発」（18-19日、東北研、於：北上市 岩手県農業研究センター） 小麦から小麦粉、ふすま等へ、及び大麦から精麦、麦ぬかへの放射性セシウムの移行についての調査結果を農林水産省に報告（19日、食総研） 「現在の空間線量率を予測する考え方について」（24日、原子力災害対策本部、農環研情報提供） 仙台市若林区で行った「イネ耐塩性試験」のNHKニュース放映（25日、作物研） プレスリリース「農地土壌の放射性物質濃度分布図の作成について」（30日、農林水産省、農環研情報提供） 水文・水資源学会において講演（31日、農工研、主催：水文・水資源学会、於：京都府宇治市 京都大学） 平成23年度日本地すべり学会第50回研究発表会において講演（31日、農工研、主催：日本地すべり学会、於：静岡市）
9月	東北農業研究センター一般公開「いま、東北農研ができること、これからの東北農業」農業に関わる復興支援について展示、講演（3日、東北研、於：盛岡市 東北研）
11月	2011年実践総合農学会第6回地方大会にて基調講演「放射能汚染と風評被害」（5日、食総研、主催：実践総合農学会、於：福島県鮫川村公民館）
12月	アグリビジネス創出フェア「東日本大震災からの復旧・復興に向けた農業技術の活用-東北から日本をかえる新しい技術シーズの活用-」（1日、東北研、主催：農林水産省、於：千葉市 幕張メッセ） 東日本大震災の復旧・復興支援のための技術講習会・技術相談会（6日、農工研・東北研、於：盛岡市） 「大震災からの農業・農村の復興に関する技術シンポジウム」（7日、主催：農研機構・東北大学、於：東北大学） 施設栽培技術の情報交換会第1回「イチゴの高設栽培の特長と新技術」（12日、野茶研、於：東京都 日本教育会館） 資料：暫定規制値を超過した放射性セシウムを含む米が生産された要因の解析（中間報告）公表（25日、協力機関：農環研）
平成24年	プレスリリース「福島県飯館村の畑圃場で栽培されたヒマワリからの搾油とバイオディーゼル燃料の製造試験の結果」（24日、中央研）
1月	福島県桑折町教育委員会講演会にて講演「放射能と食品安全-風評被害を防止する-」（28日、食総研、主催：桑折町、於：JA伊達みらい桑折総合支店）

被災地に向けた情報発信（2）

年・月	発 信 内 容
2月	施設栽培技術の情報交換会第2回「イチゴの高設栽培の基礎と実際」（4日、野茶研、於：宮城県亶理町）
	プレスリリース「平成23年度 除染技術実証試験事業-「放射性物質を含む汚染土壌等からの乾式セシウム除去技術の開発」について（お知らせ）-」（22日、中央研・国際農研・太平洋セメント（株）・日揮（株）・東京電力（株））
	東日本大震災復旧対策にかかる津波模型公開実験（22-23日、農工研、於：つくば市 農工研）
	プレスリリース「玄米の放射性セシウム低減のためのカリ施用」（24日、中央研）
3月	プレスリリース「農地土壌の放射性物質濃度分布図」の作成について（23日、農林水産省・農環研）
	開発した農地土壌の除染技術が「農地土壌の放射性物質除去技術手引き第1版（農林水産技術事務局）」に掲載（農研機構・農環研）
4月	農研機構ホームページ「東日本大震災への対応」サイト更新（農研機構）
	総説「土壌-植物系における放射性セシウムの挙動とその変動要因」（PDF）をウェブ公開（17日、農環研）
6月	宮城県とパートナーシップ協定締結（13日、農工研、於：仙台市）
	粘り強い防潮堤に関する津波模型公開実験（29日、農工研、於：つくば市 農工研）
7月	東北農業試験研究推進会議生産環境推進部会土壌肥料研究会「土壌中のリン酸・カリの過剰蓄積および東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題」（5-6日、東北研、於：青森県黒石市 地方独立行政法人青森県産業技術センター 農林総合研究所）
	宮城県職員来所、復旧・復興技術の説明対応（6日、農工研）
	東日本大震災の復旧復興のための技術相談会（11日、農工研、於：石巻市）
	農地等の物理的除染の研究成果および技術に関する検討会（11日、農工研、於：福島市）
	飯舘村農地除染セミナーにてトラクターを使った農地の除染法を紹介（19日、生研セ・中央研、於：福島県 飯舘村）
	東北地域農林水産・食品ハイテク研究会講演会「被災地での復旧・復興の取り組みについて-東北農業研究センターの取り組みを中心として-」（24日、東北研、於：ホテル法華クラブ仙台）
	プレスリリース「農地、森林での放射性セシウムの挙動に関する農環研のレビューに高い関心」（26日、農環研）
	東北農業試験研究推進会議農業生産基盤推進部会農業経営研究会「震災後の農業・農村復興の取り組み状況とその担い手像」（27日、東北研、於：盛岡市 東北研）
宮城県議員団来所、復旧・復興技術の説明対応（30日、農工研）	
8月	東日本大震災の復旧復興のための実用新技術説明会及び技術相談会（9日、農工研、於：仙台市）
	先端プロ「大規模施設園芸技術の実証研究」開所式・小セミナー（28日、野茶研、於：宮城県山元町 大規模施設園芸実証研究施設）
	東北農業試験研究推進会議農業生産基盤推進部会作業技術研究会「被災地の復旧状況と復興に向けた取り組みと課題」（30-31日、東北研、於：仙台市 宮城大学食産業学部）
	プレスリリース「『除染用反転耕プラウの開発とその利用』の作成- 表土をすき込む深さが改善 -」（31日、中央研）
9月	傾斜牧草地向けに新たに開発した除染用作業機を用いた公開現地試験（21日、畜草研、於：宮城県大崎市 宮城県岩出山牧場）
10月	傾斜牧草地向けに新たに開発した除染用作業機を用いた公開現地試験（3日、畜草研、於：福島県西白河郡西郷村 独立行政法人家畜改良センター）
	宮城県東部管内農地災害復旧等施工技術検討委員会に委員として参画（10日、農工研、於：宮城県東部地方振興事務所）
	粘り強い防潮堤の現地検討会（10日、農工研、主催：農工研・東北農政局亶理建設所、於：宮城県 鳥の海工区内）
	農研機構要覧「原発事故対応のための研究開発」の紹介（農研機構）
11月	農研機構シンポジウム「茶・果樹の放射性セシウム汚染に関する対策技術開発の現状」（4日、野茶研、於：横浜市 神奈川県民ホール）
	アグリビジネス創出フェアに出展「宮城県で実施中の土地利用型農業に関する実証研究について」（15日、東北研、於：東京都 東京ビッグサイト）
	農業・農村の地域再生に関する技術シンポジウム（15日、農工研、於：仙台市）
	粘り強い防潮堤の現地検討会（16日、農工研、主催：農工研・東北農政局亶理建設所、於：宮城県 鳥の海工区内）
	茶・果樹の放射性セシウム汚染に関する対策技術開発の現状（28日、野茶研、於：神奈川県民ホール）
	東北地域マッチングフォーラム「震災からの復興、さらにその先を目指して」（30日、東北研、主催：農林水産省農林水産技術会議事務局・東北研、於：仙台市 広瀬文化センター）
12月	日本技術士会月例会「東北農業の課題と対応方向」（1日、東北研、主催：日本技術士会、於：東京都港区虎ノ門）
	東北地域アグリビジネス創出フェア2012に出展「先端技術展開事業での土地利用型営農技術の実証研究」（5日、東北研、主催 東北地域農林水産・食品ハイテク研究会・東北農政局・独立行政法人科学技術振興機構JST復興促進センター、於：仙台市 仙台市情報・産業プラザ）
	先端プロ「イチゴ高設栽培システムの標準仕様の策定」研修会（9日、野茶研、於：宮城県山元町 大規模施設園芸実証研究施設）

被災地に向けた情報発信（3）

年・月	発 信 内 容
12月	「福島県川俣町における放射性物質を含む稲わら・雑草、枝葉等の減容化実験設備の公開」（21日、中央研、於：福島県川俣町） ストーンクラッシャーを用いた反転耕後の石礫破碎実証作業の実施（21日、生研セ、於：福島県 南相馬市）
平成25年 1月	資料「放射性セシウム濃度の高い米が発生する要因とその対策について」公表（25日、協力機関：農研機構・農環研・森林総研等）
2月	福島県農林水産部からの「東日本大震災からの復旧・復興に関する技術支援要請」に対する回答書の手交（4日、農工研、於：福島県庁） みやぎ農業農村震災復興シンポジウムにて講演「津波被災農地の塩害対策について」（5日、農工研、於：仙台市）
4月	粘り強い盛土構造物の技術開発に関する公開実験（19日、農工研 於：つくば市 農工研） 「農業の震災復興に向けた提言（第2版）」発行（農研機構、生物研、農環研、国際農研）
5月	宮城県と農工研とのパートナーシップ協定に係る技術相談会（7日、農工研、主催：農工研・宮城県、於：つくば市 農工研） 「福島の農業再生を支える放射性物質対策研究シンポジウム」（15日、主催：農研機構、共催：農環研、於：福島市 コラッセふくしま） 群馬県渋川市産の茶葉サンプルの製茶依頼に対応（28日、野茶研）
6月	岩手県陸前高田市産の茶葉サンプルの製茶依頼に対応（11日、野茶研）
7月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」平成25年度現地検討会（2-3日、東北研、於：宮城県名取市（有）耕谷アグリサービス・宮城県農園研） プレスリリース「ほ場環境に応じた農作物への放射性物質移行低減対策確立のための緊急調査研究の成果について」（9日、農林水産省）のうち「籾すり機内での玄米汚染対策技術」（生研セ） 平成25年度東北農業試験研究推進会議生産環境推進部会土壤肥料研究会（夏期）「農耕地からの温室効果ガス発生削減および東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題」（9-10日、東北研、於：郡山市 福島県農業総合センター・福島市 放射能対策試験現地圃場） 「米の収穫・乾燥・調整工程における放射性物質交差汚染防止ガイドライン」公表（農林水産省、協力機関：生研セ） 「ジオテキスタイルによる粘り強い強化防潮堤設計・施工マニュアル（案）」発刊（農工研、刊行：国際ジオシンセティック学会 ジオテキスタイルによる粘り強い強化防潮堤開発委員会）
8月	傾斜草地除染における無線トラクター工法実演会（22日、畜草研、主催：みやぎ農業振興公社、於：宮城県 白石牧場） 平成25年度東北農業試験研究推進会議野菜花き推進部会花き研究会（夏期）福島県における産地復興に向けた試験研究の状況報告「高品質低環境負荷花き生産に向けた研究と開発」（27-28日、東北研、於：福島県須賀川市（有）佐藤園芸・JAすかがわ岩瀬花き部会・郡山市 郡中貸会議室） 放射線・放射能・中性子計測クラブ研究会「第17回放射線・放射能計測セミナー」にて「食品の加工・調理における放射性物質の動態」を講演（28日、食総研、主催：（独）産業技術総合研究所、於：福島市 福島テルサ）
9月	平成25年度東北農業試験研究推進会議農業生産基盤推進部会農業経営研究会（夏期）「担い手の育成・確保に向けた農地集積の課題と解決方法―被災水田地域を対象に―」（3日、東北研、於：盛岡市 東北研） 傾斜草地除染実証調査助成等事業現地検討会（18日、畜草研、主催：いわき市畜産団体連絡協議会、於：福島県芝山牧野） 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究」平成25年度現地検討会（24-25日、東北研、主催：東北研・宮城県農園研、於：宮城県名取市（有）耕谷アグリサービス・岩沼市 林ライス・宮城県農園研）
10月	東日本大震災の復旧復興のための実用新技術講習会及び技術相談会（22日、農工研、於：郡山市 福島県農業総合センター） 粘り強い防潮堤の工法説明会（29日、農工研、於：福島県 相双農林事務所）
11月	「第2回ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェア」に先端プロ「福島資源循環」について出展（4-5日、中央研、主催：福島県、於：郡山市）
12月	新たな農業・農村の創造に関する技術シンポジウム（12日、農工研、主催：農工研・東北大学、於：仙台市 東北大学川内萩ホール）
平成26年 1月	講演「バイオマス利活用の全体像」（25日、農工研、主催：南相馬市・（社）えこね南相馬研究機構、於：南相馬市 大町地域交流センター）
2月	日蘭研究交流シンポジウムにて「労務管理による施設園芸経営の合理化」でモデレーターとして協力（4日、近農研、主催：農林水産省、於：仙台市） 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」平成25年度現地報告会（4日、東北研、於：陸前高田市 岩手農研南部園芸研究室）
3月	2014年度福島シンポジウムにてポスター発表「乾式メタン発酵技術を核とした農業の段階的再生-除染作業が進行中の地域における検討素材-」（1日、農工研、主催：農村計画学会震災科研、於：福島市 福島県青少年会館） 沿岸地域農業復興セミナーにて現地実証ハウス等の紹介（12日、近農研、主催：岩手県農業研究センター、於：陸前高田市 岩手県農業研究センター南部園芸研究室）

被災地に向けた情報発信（４）

年・月	発 信 内 容
3月	「放射性セシウム濃度の高い米が発生する要因と その対策について ～要因解析調査と試験栽培等の結果の取りまとめ～（概要第2版）」発行（農林水産省・福島県・農研機構・農環研） 「粘り強い防潮堤」（東日本大震災合同報告 共通編3編）発刊（農工研、発刊：日本地震工学会・土木学会・地盤工学会）
4月	「灌漑期間における農業用水の電気伝導度の測定値のメール配信開始」を名取土地改良区、岩沼市寺島地区の用水管理者に案内（24日、農工研） 平成26年度第1回飼料作物放射性物質対策関係者情報交換会にて無線トラクタの実演と飼料作物の放射能対策の講演（24日、畜草研、主催：農林水産省生産局畜産振興課、於：宮城県）
5月	福島県の農地海岸事業の担当者に対して「三面一体化堤防」の紹介（19-20日、農工研） 「岩手県陸前高田市産の茶葉サンプルの製茶依頼に対応」（28日、野茶研）
6月	宮城県と農工研とのパートナーシップ協定に係る技術相談会（13日、農工研、主催：農工研・宮城県、於：つくば市農工研） 三面一体化堤防の紹介パンフレット「地形制約や地元要望等に応えられる新しい防潮堤の紹介」を国や県の関係機関に一斉配布（農工研） 水産庁の漁港海岸事業の担当者に対して「三面一体化堤防」の紹介（農工研）
7月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」平成26年度現地検討会（2-3日、東北研、於：仙台市 宮城県民会館・名取市（有）耕谷アグリサービス） 平成26年度東北地域農業試験研究推進会議生産環境推進部会土壌肥料研究会（夏期）「田畑輪換に伴う地力低下および東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題」（8-9日、東北研、於：仙台市 TKPガーデンシティ仙台・宮城県山元町 大規模施設園芸実証圃場・亶理町 津波被災水田ほ場整備工事） 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」平成26年度現地検討会（15-16日、東北研、於：岩手県陸前高田市 現地圃場・北上市 岩手県農業研究センター）
8月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「施設園芸栽培の省力化・高品質化実証研究プロジェクト概要紹介」（6日、野茶研、主催：宮城県、於：亶理町 イチゴファーム研修室）
9月	平成26年度東北農業試験研究推進会議生産環境推進部会病害虫研究会（夏期）「震災復興に向けた病害虫防除の取り組み」、「現地検討会：営農再開地域における斑点米カメムシ防除実証圃、営農再開地域におけるトマト栽培の取り組み」（1-2日、東北研、於：郡山市 福島県農業総合センター・田村市常葉町・都路町） 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」農業者を対象とした現地研修会「土地利用型営農技術に係る先端技術普及促進現地検討会」（4日、東北研、主催：宮城県・東北研、於：名取市（有）耕谷アグリサービス） 平成26年度第1回飼料作物放射性物質対策関係者情報交換会にて表土削り機および無線トラクタ用ロータリの実演と汚染牧草の処理に関する講演（5日、畜草研、主催：農林水産省生産局畜産振興課、於：那須塩原市 畜草研）
10月	「実用新技術講習会及び技術相談会」にて「農地土壌の放射能分布を推定する空間ガンマ線測定技術」、「放射性物質に汚染された農地土壌の冬期における表土剥ぎ取り工法」についてプレゼン・技術相談（2日、農工研、於：東京大学） 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「被災地の早期復興に資する果樹生産・利用技術の実証研究」平成26年度成果伝達会（9日、果樹研、主催：農林水産省 食料生産地域再生のための先端技術展開事業 地域再生（果樹生産）コンソーシアム、於：名取市 宮城県農業・園芸総合研究所・山元町 現地実証圃場） 福島県浅見川地区の海岸復旧事業の担当者に対して「三面一体化堤防」の紹介（29日、農工研） 農業施設学会シンポジウム「持続的な農業経営のための放射性物質対策技術“これまで”と“これから”の安全・信頼確保のために」（31日、畜草研、主催：農業施設学会、後援：農研機構、於：福島県 郡山市民文化センター）
11月	第1回農研機構植物工場つくば実証拠点・九州実証拠点共通研修会「太陽光利用型植物工場におけるイチゴの多収栽培」（5-6日、野茶研、主催：農研機構、共催：日本施設園芸協会・宮城県農園研、於：宮城県農業園芸総合研究所） 沿岸部排水機場の津波減災対策に関する公開実験および意見交換会（14日、農工研、於：農工研） 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究」「キャベツの機械化一貫体系実証研究」現地検討会（21日、東北研、主催：東北研・宮城県農園研、協力：農林水産技術会議事務局・東北農政局・宮城県農林水産部・農事組合法人林ライス・ヤンマー（株）・中央研、於：宮城県農園研・宮城県岩沼市 農事生産法人林ライス）
12月	南相馬市地域農業再生協議会説明資料「南相馬市における玄米の基準値超過の発生要因調査 米の全袋検査結果及び基準値超過発生要因の調査結果とりまとめ」（1日、農林水産省・福島県・東北農業研究センター・農業環境技術研究所、於：そうま農業協同組合原町総合支店） 第3回ふくしま復興・再生可能エネルギー産業フェアにて先端プロ「福島資源循環」について出展（3-4日、中央研、主催：福島県、於：郡山市） 公開討論（イチゴ高設栽培標準化フォーラム）「飛躍的な生産性向上を実現するイチゴ生産プラットフォームとは」（12日、野茶研、主催：農研機構、共催：宮城県、於：宮城県農業・園芸総合研究所） 平成26年度放射性セシウムを含む玄米試料を用いた技能試験説明会を開催（12日、食総研、主催：食総研・産総研・セイコー EG&G（株）、於：東京都中央区 東京八重洲ホール）。

被災地に向けた情報発信（5）

年・月	発信内容
平成27年	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「技術・経営診断技術開発研究」-大区画圃場での高能率作業による稲-麦-大豆2年3作水田輪作体系-平成26年度展示圃場試験成績検討会(22日、東北研、於：宮城県松島町新富亭)
1月	平成26年度東北農業試験研究推進会議生産環境推進部会土壌肥料研究会「東日本大震災に対応した試験研究の現状と課題」(29-30日、東北研、於：盛岡市 東北研)
2月	公開討論(イチゴ高設栽培標準化フォーラム)「飛躍的な生産性向上を実現するイチゴ生産プラットフォームとは」(12日、野茶研、主催：農研機構、共催：農環研、於：福島市 コラッセふくしま) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業(農村未利用エネルギー)現地見学会(23日、農工研・食総研、主催：農林水産省技術会議事務局、於：宮城県岩沼市)
3月	農業の復旧・復興のための研究成果報告会～再生期における高収益農業実現のための技術開発～(3日、東北研、主催：宮城県農園研・古川農試、於：名取市 宮城県農園研) 福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会バイオマス分科会にて「資源循環型メタン発酵システムの構築」紹介、福島県再生可能エネルギー関連産業推進研究会バイオマス分科会(13日、中央研、主催：福島県、於：郡山市 日大工学部) 第3回国連防災世界会議「東日本大震災を踏まえた防災・減災に資する農業・農村の強靱化シンポジウム」(17日、農工研、主催：東北農政局・農工研・宮城県・仙台市 水士里ネット宮城、於：AER TKPガーデンシティ仙台)
4月	「灌漑期間における農業用水の電気伝導度の測定値のメール配信」を名取土地改良区、亘理土地改良区に提供(通年、農工研)
5月	パンフレット「原発事故に伴う畦畔草の放射性セシウム汚染の実態と利用に当たっての留意点」発行(22日、東北研・畜草研・中央研) 平成27年度第1回飼料作物放射性物質対策関係者情報交換会において最新情報について講演(22日、畜草研、主催：農林水産省生産局畜産振興課、於：福島県) 第1回南相馬市地域農業再生協議会-平成25年産基準値超過米の発生要因調査結果報告会(26日、農環研、主催：農林水産省・福島県・東北研・農環研、於：そうま農業協同組合原町総合支店)
6月	平成27年度中央畜産技術研修会(畜産物安全行政)において放射能対策を担当(25日、畜草研、主催：農林水産省生産局畜産部、於：福島県西郷村 家畜改良センター)
7月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」平成27年度現地検討会(14-15日、東北研、主催：東北研、於：仙台市 TKPガーデンシティ仙台・名取市 (有)耕谷アグリサービス) 養液栽培・環境制御勉強会(亘理地域の法人イチゴ生産者を対象としたセミナー)において講演(22、29日、野菜茶研、主催：農業生産法人一莓一笑、於：宮城県 山元いちご農園) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「持続的な畜産経営を可能とする生産・管理技術の実証研究」平成27年度現地見学会(29日、主催：地域再生(持続的畜産)コンソーシアム、於：福島市 現地実証農場・現地圃場) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」平成27年度現地検討会(30-31日、東北研、主催：東北研、於：岩手県陸前高田市 現地圃場・北上市 岩手県農業研究センター) 総合セミナー「環境制御の現状と課題」(31日、宮城県農業園芸総合研究所・野茶研、主催：宮城県、於：仙台市 JAビル仙台) 第1回双葉町再生可能エネルギー活用・推進プロジェクト勉強会(31日、農工研、主催：双葉町、於：双葉町役場いわき事務所) 「津波被災した低平農地の海水侵入状況と用排水管理モデル」(ARIC情報誌、118号、pp.12-19)(農工研)
8月	「周年安定生産を可能とする花き栽培技術の実証研究」講演会・実証現地見学会(6-7日、花き研、主催：地域再生花き生産コンソーシアム、於：福島県いわき市 ラトブ・いわき花匠・新地町 圃場) 宮城県と農工研とのパートナーシップ協定に係る技術相談会(25日、農工研、主催：農工研・宮城県、於：つくば市農工研) 小ギク電照栽培セミナーおよび現地実証見学会(26日、花き研、主催：福島県農総センター・地域再生花き生産コンソーシアム、於：福島県新地町 JA会館)
9月	2015年度農業環境工学関連5学会合同大会オーガナイズドセッション「中山間地域に適応した施設園芸に求められる農業環境工学研究」(17日、近農研・岩手農研、主催：農業食料工学会・日本農業気象学会・農業施設学会・生態工学会・農業情報学会、於：岩手県 岩手大学) 平成27年度第2回飼料作物放射性物質対策関係者情報交換会にて放射能プロの紹介(18日、畜草研、主催：農林水産省生産局畜産振興課、於：農林水産省)
10月	「実用新技術講習会及び技術相談会」において「地震・津波に対して強靱な三面一体化堤防構造」、「巨大浸水被害から沿岸部の農村地域を守る地域減災システム」についてプレゼン・技術相談(7日、農工研、主催：農工研、後援：農林水産省、於：東京都 東京大学) 第2回双葉町再生可能エネルギー活用・推進プロジェクト勉強会(13日、農工研、主催：双葉町、於：福島県勿来土木事務所) 農業生態系における放射性セシウムの吸着・固定化-可給化メカニズムの解明に向けたワークショップ(13日、東北研、主催：東北研、於：福島市 コラッセふくしま)

被災地に向けた情報発信（6）

年・月	発 信 内 容
10月	<p>福島大学うつくしまふくしま未来支援センター農・環境復興支援部門シンポジウム「ふくしまの食品・農業・環境の未来を創る」において講演（28日、東北研、主催：福島大学、後援：福島県・東北研・地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会、於：福島市 コラッセふくしま）</p> <p>「携帯型電磁探査機器による地盤沈下した津波被災農地の海水侵入状況調査」（情報誌「農村振興」技術ノート、790号、pp. 28-29）（農工研）</p>
11月	<p>食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究」平成27年度現地検討会 加工・業務用ハウレンソウ分科会機械収穫実演および研修会（4日、東北研、主催：東北研・宮城県農園研、協賛：株式会社キセキ関東、於：宮城県岩沼市 農事生産法人林ライス圃場）</p> <p>平成27年度青果物流通システム高度化事業 加工・業務用野菜生産振興研修会・食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究」現地検討会（4日、東北研、主催：野菜流通カット協議会・宮城県・東北研、協賛：日本施設園芸協会・青果物選果予冷施設協議会、於：宮城県岩沼市 農事生産法人林ライス圃場・岩沼市民会館）</p> <p>イチゴ環境制御についての勉強会（24-25日、主催：JAみやぎ亘理・宮城県・農研機構、於：宮城県 JAみやぎ亘理イチゴ選果場）</p> <p>東北農政局新技術導入推進委員会「新工法を導入した実証工区の現地検討会」（25日、農工研、主催：亘理建設所・農工研、於：亘理町）</p> <p>キク専門部会講習会にて講演「電照栽培の成果」（30日、花き研、主催：福島県農総センター・JA会津みどり、於：福島県会津三里町）</p>
12月	<p>平成27年度食料生産地域再生のための先端技術展開事業 施設園芸・未利用エネルギー合同研究成果伝達会「東日本大震災からの復興に向けた施設園芸の取り組みと今後の課題」（3-4日、花き研・野茶研・農工研、主催：岩手県・福島県・宮城県・農研機構・農業施設学会、於：宮城県 岩沼市民会館）</p> <p>食料生産地域再生のための先端技術展開事業「減災・防災システムの開発・実証研究」新工法を導入した実証工区の現地検討会、平成27年度推進会議（10日、農工研、主催：農工研、於：宮城県 防潮堤復旧工事島の海工区 他）</p> <p>産地指導者養成研修会において「放射性物質に対応した畜産物生産のための作業マニュアル（肉用牛編・酪農編）」について講演（15日、畜草研、主催：畜産経営支援協議会、於福島県西郷村 家畜改良センター）</p>
平成28年 1月	<p>宮城発の美味しい魚介類で新たな介護食の開発を！（水宮3-01プロの成果の講演と試食）（22日、食総研、主催：東京海洋大学、後援：宮城県水産技術センター、於：宮城県 気仙沼市魚市場3階会議室）</p>

一般消費者や生産者に向けた情報発信（1）

年・月	発信内容
平成22年 3月	「東日本大震災に伴い発生した原子力発電所被害による食品への影響について」ホームページ掲載（22日、食総研）
4月	農環研における放射能モニタリングの研究について（リンク集）ウェブ公開（1日、農環研）
	東日本大震災復興支援農工研特設サイト開設（6日、農工研）
	緊急シンポジウム「放射性物質の食品影響と今後の対応」（18日、食総研、於：つくば市 つくば国際会議場）
	原子力発電所事故等による土壌・農作物の放射能汚染に関する情報ポータル開設（26日、農環研）
5月	中央農研市民講座「東日本大震災と稲作」（14日、中央研、於：つくば市 食と農の科学館）
6月	農林水産省「お茶の生産に関するQ&A」Web情報発信への情報提供（野茶研）
	農林水産省「お茶に含まれる放射性セシウム濃度の低減に向けた対応について」Web情報発信への情報提供（野茶研）
7月	日本農学アカデミー第13回シンポジウム－東日本大震災の被害の実態と復興のシナリオー 講演「農地・農業施設の損壊と復興に向けた修復の方法」（9日、農工研）
	日本農学アカデミーミニシンポジウム－東日本大震災調査研究報告－において講演「放射能汚染と食品安全性」（食総研）、「未曾有の農地損壊－穀倉は立ち直れるか」（農工研）（16日、主催：日本農学アカデミー、於：東京大学）
	中央農業総合研究センターニュース No. 47「特集 東日本大震災からの復興に向けた取組み」（25日、中央研）
	夏休み公開において特別展示「東日本大震災コーナー」を設置（30日、農研機構、於：つくば市 食と農の科学館）
8月	プレスリリース「農地土壌の放射性物質濃度分布図の作成について」（30日、農林水産省、農環研情報提供）
	「防災週間」に併せて農工研の東日本大震災対応と技術支援展示（8/30-9/30、農工研、於：つくば市 食と農の科学館）
9月	東北農業研究センター一般公開「いま、東北農研ができること、これからの東北農業」 農業に関わる復興支援について展示、講演（3日、東北研、於：盛岡市 東北研）
	農研機構シンポジウム「広域的な農畜産物の放射能汚染を効果的に抑制する農業技術-チェルノブイリ原発事故事例に学ぶ-」（5日、畜草研、於：つくば市 つくば国際会議場）
	農業農村工学会大会講演会 特別企画－東日本大震災シンポジウム－において講演「農業用施設の被災と復旧・復興」（6日、農工研、主催：農業農村工学会、於：福岡市 九州大学）
	フードテック2011－国際食品産業展2011大阪－に復興支援展示（被災地菓子メーカーによる小麦新品種加工品等の出展）（7-9日、東北研、主催：社団法人 大阪国際見本市委員会等、於：大阪市）
	全国農村振興技術連盟 東日本大震災・復興支援セミナーにおいて講演「東日本大震災による農村地域の被災と復旧・復興」（13日、農工研、主催：全国農村振興技術連盟、於：東京都 サイエンスホール）
	第10回産学官連携推進会議 災害からの安全性向上に役立つ科学技術において講演「農業の復興・再生に向けた研究開発」（22日、農研機構、主催：内閣府等、後援：農業・食品産業技術総合研究機構等、於：東京国際フォーラム）
10月	食品開発展2011記念セミナーにおいて講演「食品の放射能汚染の今後の問題点と測定法について」（5日、食総研、主催：UBMメディア株式会社、於：東京都 東京ビッグサイト）
	第34回農業環境シンポジウム「放射性物質による土壌の汚染－現状と対策－」（7日、農環研、於：東京都 新宿明治安田生命ホール）
	7th International Symposium on Biocatalysis and Agricultural Biotechnology、京都講演「Radioactive Fallout on Food and Related Research in NFRI」（11日、食総研、主催：International Society of Biocatalysis and Agricultural Biotechnology、於：京都府）
	フード・フォーラム・つくば 秋の例会講演会において講演「放射性物質を理解する－基礎、測定・検査法、食品や人体への影響－」（13日、食総研、主催：フード・フォーラム・つくば、共催：食総研、於：つくば市 つくば国際会議場）（「食品と開発」2012年1月号掲載）
11月	中国農産物開発研究所セミナーにおいて講演「Radioactive Fallout on Food and Related Research in NFRI」（25日、食総研、主催：中国農業科学院、於：北京）
	「食糧－その科学と技術－第50号」放射性物質と食品に関連した論文153編の和文要約を発行、配布（28日、食総研）
	平成23年度食品関係技術研究会講演「放射性物質の食品への影響－（独）農研機構食品総合研究所の緊急対応－」（1日、食総研、於：つくば市 つくば国際会議場）
11月	食品総合研究所研究成果展示会2011 公開講演会「放射性セシウムの食品影響と測定法について」（2日、食総研、於：つくば市 つくば国際会議場）
	平成23年度食品包装技術セミナー（後期）において基調講演「食品の安全性に関わる研究開発」（9日、食総研、主催：一般社団法人日本食品包装協会、於：東京都 北とびあ）
	国際イネ研究所広報誌Rice Today掲載「Beyond 3.11」仙台市津波被害水田におけるイネ試験栽培（作物研、発行元：国際イネ研究所）
	土地改良研修会において講演「農業用施設の被災と復旧復興」（18日、農工研、主催：（社）北海道土地改良設計技術協会、於：札幌市）
	長野県工業技術総合センター 研究・成果発表会において特別講演「放射性物質の食品への影響と測定法について」（25日、食総研、主催：長野県工業技術総合センター、於：長野市 長野県工業技術総合センター）

一般消費者や生産者に向けた情報発信（２）

年・月	発信内容
11月	日本食品工学会秋季講演会において講演「放射性物質の食品への影響に関連する食総研の取り組み」（26日、食総研、主催：日本食品工学会、於：栃木県那須塩原）
	柏市平成23年度第2回給食施設従事者研修において講演「放射性物質の基礎知識と食品への影響-リスクを考える-」（28日、食総研、主催：柏市、於：ウェルネス柏）
	(財)東京顕微鏡院第80回食と環境のセミナーにおいて講演「放射性物質の食品への影響」（28日、食総研、主催：(財)東京顕微鏡院・食と環境の科学センター、於：東京都中央区立月島社会教育会館）
12月	東北農業研究センターシンポジウム「津波被害農地の塩害対策技術」（1日、東北研、於：仙台市民会館）
	平成23年度静岡県施肥研究会における講演「茶の放射性セシウム汚染に対する野菜茶業研究所の取り組み」（2日、野菜研、主催：静岡県施肥研究会、於：菊川市）
	「大震災からの農業・農村の復興に関する技術シンポジウム」（7日、主催：農研機構・東北大学、於：東北大学）
	産学官共同研究による農林事業開発シンポジウム～平成23年度未来農林事業開発研究会研究成果発表会～において講演「食品の放射能汚染とその対応」（9日、食総研、主催：(社)日本工業技術振興協会(略称JTTAS)、於：東京都キャンパスイノベーションセンター）
	(独)物質・材料研究機構第2回放射線計測セミナーにおいて講演「放射性物質の食品への影響」（12日、食総研、主催：物質・材料研究機構、於：つくば市(独)物質・材料研究機構）
茨城県県南生涯学習センター平成23年度天章堂講座において講演「食の安全と表示を守る仕組み -農薬から放射性物質まで-」（12日、食総研、主催：茨城県県南生涯学習センター）	
平成24年	農業農村工学会材料施工研究部会シンポジウムにおいて基調講演「大規模災害で被災した圃場の再生と農業基盤の役割」（20日、農工研、主催：農業農村工学会、於：新潟市）
	農環研ニュース No. 93(特集 土壌の放射能汚染に関する公開シンポジウム)の発行・ウェブ公開(24日、農環研)
1月	新食品会平成23年度第5回例会において講演「放射性物質の食品への影響とその対応」（26日、食総研、主催：食品産業センター、於：東京都）
	全国学校保健・養護教諭担当指導主事会「放射性物質の食品への影響」（11日、食総研、主催：全国学校保健・養護教諭担当指導主事会、於：東京都）
2月	平成23年度第2回日本食品分析センター講演会「食の安全を守る仕組み -農薬から放射性物質まで-」（21日、食総研、主催：日本食品分析センター、於：東京都）
	第29回土・水研究会「福島第一原子力発電所事故による農業環境の放射能汚染」（22日、農環研、於：つくば市 つくば国際会議場）
	東京都栄養士会 研究教育部会講演会「放射性物質の食品影響と(独)農研機構食品総合研究所の対応」（25日、食総研、主催：東京都栄養士会、於：東京都）
	食品総合研究所講演会「食品中放射性物質測定入門-サンプリング、測定、データ解析の基礎」（27日、食総研、於：つくば市 食総研）
	(社)中央味噌研究所平成23年度第2回技術講習会にて講演「放射性物質の食品への影響とその対応」（8日、食総研、主催：中央味噌研究所、於：東京都 鉄鋼会館）
3月	生研センター研究報告会において講演「除染作業におけるはつ土板ブラウ耕の耕深と表層土埋没深さとの関係」（8日、生研セ、於：大宮ソニックシティ）
	農業及び土壌の放射能汚染対策技術国際研究シンポジウムにおいて講演・ポスター発表（8-10日、農研機構・農環研、主催：農林水産省・国際科学技術センター、於：福島県郡山市）
	平成23年度農林水産省補助事業報告書「災害時の緊急対応における食品の安全性確保～東京電力福島第一原子力発電所事故による緊急時対応に係わる技術情報整理～」(社)農林水産・食品産業技術振興協会(15日発行、食総研協力)
	プレスリリース「白米からのバイオエタノール製造時における放射性セシウムの動態の解析」（16日、食総研）
	中央農業総合研究センターニュース No. 51「東日本大震災からの復興に向けた取組の成果」（30日、中央研）
	開発した農地土壌の除染技術が「農地土壌の放射性物質除去技術手引き第1版（農林水産技術事務局）」に掲載（農研機構、農環研）
	農研機構ホームページ「東日本大震災への対応」サイト更新（農研機構）
4月	「食品中の放射性物質の新基準値 - 松永和紀氏の講演を聞いて」（解説記事）をウェブ掲載(1日、農環研)
	公益社団法人日本技術士会農業部会講演会において講演「放射性物質の食品への影響」（7日、食総研、主催：日本技術士会農業部会、於：東京都 日本技術士会）
	農業環境中に存在する放射性核種の一般公開システムを更新・サービス再開(19日、農環研)
	食品総合研究所一般公開講演会「知っておきたい放射能の知識」（20日、食総研、於：つくば市 食総研）
	農村工学研究一般公開「災害に強い農業・農村の技術」（20-21日、農工研、於：つくば市 農工研）
農業環境技術研究所一般公開：講演「農地の放射能汚染」、展示「農地土壌の放射性セシウム分布マップ」（20-21日、農環研、於：つくば市 農環研）	
5月	東日本大震災への対応ホームページ開設(10日、中央研)

一般消費者や生産者に向けた情報発信（3）

年・月	発信内容
5月	食品総合研究所講演会「食品中放射性物質測定入門－サンプリング、測定、データ解析の基礎」（16日、食総研、於：つくば市 食総研）
	静岡大学生物産業創出拠点第29回研究会公開講演会において講演「放射性物質の食品への影響と食品総合研究所の緊急対応について」（18日、食総研、主催：静岡大学生物産業創出拠点、於：静岡市 静岡県男女共同参画センターあざれあ）
	東北研 菜の花公開2012にて研究成果展示「市販土壤ECセンサを用いた土壤塩分濃度の簡易測定」「電磁探査法による海水浸水農地の土壤電気伝導度の測定」（19-20日、東北研、於：盛岡市 東北研）
	東北ナタネセミナー（津波等の被害を受けた農地に積極的に栽培されているナタネの生産振興及び拡大のための現地研究会）（29日、東北研、於：雫石町中央公民館及び現地試験圃場）
7月	平成24年度関東甲信越地区醸造研究会「食品総合研究所における放射性物質影響研究について」（5日、食総研、主催：関東甲信越地区醸造研究会（群馬県事務局）、於：高崎市群馬県立群馬産業技術センター）
	食品ニューテクノロジー研究会12年7月例会見学「放射性物質の食品影響に関する食品総合研究所の緊急対応」（5日、食総研、主催：日本食料新聞社、於：つくば市 食総研）
	ROBOTECH次世代ロボット製造技術展（東京ビックサイト）に開発した除染用機械のパネル・ビデオを展示（11-13日、生研セ、主催：一般財団法人マイクロマシンセンター（MMC）、於：東京ビックサイト）
	出前技術指導「簡易空撮気球の技術移転（空撮画像による津波の影響の解析）」（16日、東北研、於：福島県相馬市）
	食総研・産総研ジョイントシンポジウム2012－食品の放射能測定の信頼性確保に向けて－「放射性物質の食品への影響と食品総合研究所の緊急対応について」（22日、食総研、於：東京都 星陵会館ホール）
	施設園芸・植物工場展2012に出展「先端プロ『施設園芸栽培の省力化・高品質化実証研究』の紹介」（25-27日、花き研、主催：日本施設園芸協会、於：東京ビックサイト）
	安全工学分野「放射能対策技術、防災技術」震災後の技術課題 Part2—において講演「食品の放射能汚染とその測定」（27日、食総研、主催：一般社団法人コラボ産学官、於：東京都 朝日信用金庫船堀センター）
8月	食品中の放射性物質対策に関する説明会（27日、農研機構、主催：農政局土浦地域センター、於：つくばカピオ内ホール）
	夏休み公開で「東日本大震災への取り組み」を展示（28日、農研機構、於：つくば市 食と農の科学館）
	応用物理学会放射線分科会放射線夏の学校において講演「食品照射と食品の放射能測定」（8日、食総研、主催：応用物理学会放射線分科会、於：つくば市 つくばグランドホテル）
	日本食品工学会第13回（2012年度）年次大会シンポジウム「放射性セシウムの基準値はどのように決められたのか？－仕組みと経緯、暫定規制値と新基準値－」（9日、食総研、主催：日本食品科学工学会、於：札幌市 藤女子大）
	陸前高田市の津波被災地に設置された岩手大学実験畑におけるクッキングトマトすずこま栽培試験の視察および調査（10日、東北研、於：岩手県陸前高田市）
	仙台市若林区の津波被災地農家におけるクッキングトマトすずこま栽培の技術指導（21日、東北研、於：仙台市）
9月	南三陸町仕事場をつくる会「クッキングトマトすずこまの栽培と流通」（21日、東北研、於：宮城県南三陸町）
	食品ニューテクノロジー研究会2012年8月例会「放射性物質の食品への影響と測定法について」（24日、食総研、主催：日本食料新聞社、於：つくば市 食総研）
	プレスリリース「放射性セシウムを含む玄米の認証標準物質を開発－国際規格に従った仕様で2012年8月31日から頒布開始－」（30日、食総研）
	平成24年度第1回国際計量研究連絡委員会「放射性物質の食品への影響と食品総合研究所の緊急対応について」（4日、食総研、主催：国際計量研究連絡委員会、於：東京都 泉ガーデンコンファレンスセンター）
	東北農研公開デー・震災復興支援展示「市販土壤ECセンサを用いた土壤塩分濃度の簡易測定」「電磁探査法による海水浸水農地の土壤電気伝導度の測定」ほか（8日、東北研、於：盛岡市 東北研）
	平成24年度野菜茶業研究所金谷拠点一般公開における講演「茶の放射性セシウム汚染、原発事故から500日」（22日、野茶研、於：島田市 野茶研）
10月	平成24年度園芸学会秋季大会シンポジウムにおいて講演「復旧復興のための研究開発・技術構築における支援」（22日、野茶研、主催：園芸学会、於：福井県立大学福井キャンパス）
	食品総合研究所要覧（食品の加工・調理工程での放射性セシウムの動態解明について紹介）（28日、食総研）
	農業環境工学関連学会2012年合同大会シンポジウム「食品の安全を守る仕組み－リスク分析とは？－」（農薬と放射性物質のリスク分析について講演）（30日、食総研、主催：農業環境工学関連学会、於：宇都宮市 宇都宮大学）
	「防災週間」に併せて東日本大震災からの復興に関する技術支援について展示（8/30-9/30、農工研）
10月	関東東海・土壤肥料部会秋季研究会「農地の放射性セシウムの除去・低減に関する技術開発の現状と課題」（4日、主催：中央研、於：ザ・クレストホテル立川）
	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究 アスパラガス研修会」（16日、東北研、於：宮城県名取市 宮城農園研）
	2012土壤・地下水環境展に開発した除染用機械のパネル・ビデオを展示（17-19日、生研セ、主催：（社）土壤環境センター・日刊工業新聞社、於：東京ビックサイト）
	農林水産大臣が除染技術の開発を視察（23日、中央研、於：つくば市 中央研）

一般消費者や生産者に向けた情報発信（４）

年・月	発信内容
10月	農研機構要覧「原発事故対応のための研究開発」の紹介（農研機構） 農業環境に係わる放射能汚染のポータルサイト「農業環境と放射能汚染」開設（1日、農環研） → 27年3月31日に閉鎖 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究 キャベツの機械化体系現地実証」収穫機実演会（6日、東北研、於：宮城県岩沼市相野釜ハウス園芸組合実証圃場） 第120回農学図書館情報セミナーにおいて講演「食品と放射能－食品総合研究所の緊急対応－」（8日、食総研、主催：特定非営利活動法人 日本農学図書館協議会、於：東京都 明治大学和泉図書館ホール） 家畜衛生フォーラム2012において講演「放射性物質の食品への影響とその測定法」（9日、食総研、主催：日本家畜衛生学会、於：東京都 Meiji Seika ファルマ株式会社本社講堂）
11月	アグリビジネス創出フェアに出展「先端プロ『施設園芸栽培の省力化・高品質化実証研究』の紹介」（14-16日、野茶研、主催：農林水産省、於：東京都 東京ビッグサイト） 第14回放射線・放射能・中性子計測クラブ研究会「食総研における食品中の放射性物質に係わる取り組み」（16日、食総研、主催：独立行政法人産業技術総合研究所NMIJ計測クラブ、於：産業総合研究所） 講演「作物・農地土壌の放射能汚染の実態と対策」（第10回環境研究シンポジウム）（17日、農環研） 平成24年度普及指導員等研修「茶樹における放射性物質対策」（22日、野茶研、於：島田市 野茶研） 茶・果樹の放射性セシウム汚染に関する対策技術開発の現状（28日、野茶研、於：神奈川県民ホール） 農業環境技術研究所 研究成果発表会 2012「いのちと暮らしを守る農業環境」／講演「土壌－植物系での放射性セシウムの挙動とその変動要因」、「原発事故から1年半～農地の現状」（30日、農環研、於：新宿明治安田生命ホール）
12月	農業フロンティア2012に出展「先端技術展開事業での土地利用型営農技術の実証研究」（1-2日、東北研、主催：経済産業省・農林水産省、於：東京都 東京ビッグサイト） 農業フロンティア2012に出展「先端プロ『施設園芸栽培の省力化・高品質化実証研究』の紹介」（1-2日、野茶研、主催：経済産業省・農林水産省、於：東京都 東京ビッグサイト） 農研機構シンポジウム 「自給飼料および畜産物への放射性物質移行とその低減技術」（5日、畜草研、於：東京都 南青山会館） 東北地域アグリビジネス創出フェアに出展「先端プロ『施設園芸栽培の省力化・高品質化実証研究』の紹介」（5日、野茶研、主催：東北地域農林水産・食品ハイテク研究会・農林水産省東北農政局、於：仙台市） 農業機械学会シンポジウム「第17回テクノフェスタ」－食卓まで見据えた技術開発－（震災対応技術分科会「被災地農地の除塩・防除技術の現状と課題」）（7日、中央研、主催：農業機械学会、協賛：農研機構生研センター、於：さいたま市 生研センター） 平成24年度静岡県施肥研究会における講演「茶の放射能対策プロジェクト研究成果の概要について」（7日、野茶研、主催：静岡県施肥研究会、於：静岡市） 「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」先端技術提案会（農業・農村分野）で「放射性降下物沈着農地における農業生産の早期再開に向けた資源作物生産とガス化発電」を提案（20日、畜草研、主催：農林水産省、於：福島市 コラッセふくしま）
平成25年	「論文の紹介：Cs-137 汚染に対する土壌脆弱性評価としての放射性セシウム捕捉ポテンシャル(RIP)」をウェブ掲載（1日、農環研）
1月	農業環境技術公開セミナー in静岡 成果パネル展示「チャの新芽へのセシウムの移行とせん枝による放射性セシウムの除去」（22日、野茶研、主催：農業環境技術研究所/静岡県農林技術研究所、於：静岡市） アグリニクス研究会（農工商連携）における講演「茶の放射性セシウム汚染への対策」（29日、野茶研、主催：静岡理工科大学、於：静岡県袋井市） 農工研ニュースに研究成果「放射性物質に汚染された農地土壌の効率的な除染工法」を掲載（31日、農工研）
2月	みやぎ農業農村震災復興シンポジウムにて講演「津波被災農地の塩害対策について」（5日、農工研、主催：宮城県・水土里ネットみやぎ・宮城県農村振興技術連盟、於：仙台市） 第15回放射線・放射能・中性子計測クラブ研究会大阪シンポジウム「食総研における食品中の放射性物質に係わる取り組み」（28日、食総研、主催：(独)産業技術総合研究所NMIJ計測クラブ、於：大阪府 (株)ポニー工業）
3月	生研センター研究報告会において講演「放射性物質汚染地域内水田等における除染作業用トラクタの開発」（14日、生研セ、於：大宮ソニックシティ） 「平成23年度農林水産省関係放射能調査研究年報」（平成25年3月発行）に牛乳および飼料中人工放射性核種の定点調査結果について掲載（畜草研）
4月	シンチレーション式放射能測定器－食品中のγ線放出核種（JIS Z 4342）新規制定説明会にて「食品総合研究所における食品中の放射性物質に係わる取り組み」を講演（23日、食総研、主催：(一財)日本規格協会、於：東京都港区 日本規格協会本部） 「農業の震災復興に向けた提言（第2版）」発行（農研機構、生物研、農環研、国際農研）
5月	「福島の農業再生を支える放射性物質対策研究シンポジウム」（15日、主催：農研機構、共催：農環研、於：福島市 コラッセふくしま）

一般消費者や生産者に向けた情報発信（５）

年・月	発信内容
6月	2013 国際食品工業展アカデミックプラザにてブース展示「農産物の加工・調理における放射性物質の動態」（11-14日、食総研、主催：（一社）日本食品機械工業会、於：東京ビッグサイト）
7月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」平成25年度現地検討会（2-3日、東北研、於：宮城県名取市（有）耕谷アグリサービス・宮城県農園研）
	サイエンスカフェ「放射性物質汚染から農業再生（福島は今）」（14日、国際農研、於：つくば市 イーアスつくば ヴィズガーデン）
	プレスリリース「稲発酵粗飼料用稲の収穫時の刈り取りの高さと放射性セシウム濃度の関係」（25日、畜草研）
	農業環境技術研究所 夏休み公開にて展示「東京電力福島第一原子力発電所事故に対応した（独）農業環境技術研究所の主な調査・研究活動」（27日、農環研、於：つくば市 農環研）
8月	農工研ニュースに研究成果「津波による農地被害長期化の要因とその対策」を掲載（31日、農工研）
	「ジオテキスタイルによる粘り強い強化防潮堤設計・施工マニュアル（案）」の発刊（農工研、刊行：国際ジオシンセティック学会 ジオテキスタイルによる粘り強い強化防潮堤開発委員会）
9月	平成25年度東北農業試験研究推進会議野菜花き推進部会花き研究会（夏期）福島県における産地復興に向けた試験研究の状況報告「高品質低環境負荷花き生産に向けた研究と開発」（27-28日、東北研、於：福島県須賀川市（有）佐藤園芸・JAすかがわ岩瀬花き部会・郡山市 郡中貸会議室）
	農業農村工学会大会にて「CSMT電磁探査システム」の機器展示・リーフレット配布（3-5日、農工研、主催：農業農村工学会、於：東京農業大学）
	第13回放射線計測セミナーにて「食品の加工・調理における放射性物質の動態」を講演（9日、食総研、主催：（独）物質・材料研究機構、於：つくば市 物材研）
	シンポジウム「正しく知ろう、土壌と作物の放射性セシウム低減への取り組み」（11日、中央研、主催：日本土壌肥料学会、於：名古屋大学東山キャンパス）
	「放射性物質を含む作物等の安全な減容・安定化技術の開発」（12日、中央研、主催：日本エネルギー学会「夏の学校」、於：福島市）
	公開シンポジウム「復興農学-東日本大震災からの復興への土壌科学の貢献と課題」（13日、中央研、主催：日本土壌肥料学会、於：名古屋大学東山キャンパス）
9月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究」平成25年度現地検討会（24-25日、東北研、主催：東北研・宮城県農園研、於：宮城県名取市（有）耕谷アグリサービス・岩沼市 林ライス・宮城県農園研）
	平成25年度JRA被災地支援対策事業等に関する調査研究発表会にて「飼料作物における放射性物質の移行解明と低減技術の開発」講演（25日、畜草研、主催：（財）全国競馬・畜産振興会・東京大学大学院食の安全研究センター、於：東京大学弥生講堂）
	環境放射能対策・廃棄物処理国際展RADIEX2013出展（25-27日、主催：環境新聞社、於：東京都 科学技術館）「濁水回収ノズルを用いた土壌攪拌（代かき）除染技術」「農地の放射性物質モニタリングシステムの開発」をポスター展示、「遠隔操縦により農地の放射能モニタリングが可能な測定システム」の展示（農工研）、「農地周辺除染機・シールドキャビントラクタの実機およびパネル展示」（中央研・生研センター）
	環境パラメータ・シリーズ4「食品の調理・加工による放射性核種の除去率-我が国の放射性セシウムの除去率データを中心に-」（2013年版）発行（分担執筆：食総研、発行：原子力環境整備促進・資金管理センター、東京都江東区）
10月	アグリビジネス創出フェア2013出展（23-25日、主催：農林水産省、於：東京都 東京ビックサイト）「傾斜地耕うんロータリ」の紹介（パネル・ビデオ）（畜草研）、「中山間地域における施設園芸技術の実証研究」（岩手県農業技術センター展示に協力：近農研）、「震災復興研究の取り組み」の紹介（生研セ）
	プレスリリース『放射性物質により汚染された農地等の除染のための固化剤散布による表土削り取り工法に関する施工の手引き（案）』―農地除染のマニュアルをバージョンアップ―（30日、農工研）
11月	風評被害対策セミナー「被災地を応援しよう」（2日、国際農研、主催：国際農研、於：東京農業大学）
	福島県産米の復興に向けた取り組み（11-15日、国際農研、主催：福島県水田畑作課、於：農林水産省消費者の部屋）
	平成25年度「自給飼料利用研究会」にて「飼料作物における放射性セシウム低減化技術の開発―現状と課題―」講演（15日、畜草研、於：つくば市 つくば農林ホール）
	The 11th SEGJ International Symposiumにおいて「CSMT電磁探査システム」の機器展示・リーフレット配布（18-20日、農工研、主催：物理探査学会 於：新横浜プリンスホテル）
	中央農業総合研究センターニュース No. 61「研究情報 土壌のカリウム供給力の適正化によるコメの放射性セシウム濃度の低減」「環境放射能除染・廃棄物処理国際展RADIEX2013に出展」（25日、中央研）
	福島県における放射能汚染シンポジウムにおいて講演「営農再開を考える風評被害に対する取り組み」、「なかなか取りだせない土壌中のセシウム」（26日、国際農研、主催：北海道大学、於：北海道大学工学部）
11月	日本作物学会四国支部公開シンポジウム講演「中山間の中小規模向け夏秋トマト安定生産技術開発の成果と技術普及展望」（28日、近農研、主催：日本作物学会四国支部、於：香川県善通寺市）
	農工研ニュースに研究成果「耕起した放射能汚染水田を除染するための水による土壌攪拌・除去技術」を掲載（29日、農工研）

一般消費者や生産者に向けた情報発信（6）

年・月	発信内容
11月	農業環境技術研究所30周年記念シンポジウム「21世紀の農業と環境」にて講演「農業環境における放射性物質のモニタリングと動態解明」（30日、農環研、於：東京都 新宿明治安田生命ホール）
12月	風評被害対策セミナー「被災地を応援しよう」（6日、国際農研、主催：国際農研、於：原子力研究開発機構）
	福島県産米の復興に向けた取組み「食べて応援しよう」において環境副大臣、政務官に取組みの説明（9-17日、国際農研、主催：環境省、於：環境省）
	福島県における放射能汚染シンポジウムにおいて講演「営農再開を考える風評被害に対する取組み」（14日、国際農研、主催：帯広畜産大学、於：帯広畜産大学）
	食べて応援しよう！「被災地を応援 川俣・飯館米の利用」において東北農政局長ほか取組みの説明（16-20日、国際農研、主催：農林水産省東北農政局、於：仙台合同庁舎）
平成26年	「穀類へのセシウム移行の可能性」（26日、国際農研、主催：産業技術総合研究所、於：つくば市 産業技術総合研究所 第7事業所）
	福島県における放射能汚染シンポジウムにおいて講演「営農再開を考える風評被害に対する取組み」、「鉱物中のセシウムとセシウムの結合状態」（23日、国際農研、主催：鹿児島大学、於：鹿児島大学農学部）
	SAT テクノロジー・ショーケース2014「被災地域の復旧・復興に向けた施設型農業の新技术」に「被災地域の復旧・復興に向けた施設型農業の新技术」を出版（24日、農工研、主催：つくばサイエンス・アカデミー、於：つくば市 つくば国際会議場）
	農業復興を目指す福島県飯館村を宮崎から応援しようにおいて「風評被害に対する取組み」、「セシウムの結合状態」（27日、国際農研、主催：宮崎大学国際連携センター、於：宮崎大学木花キャンパス）
1月	農工研ニュースに研究成果「モミガラ等による水田水口における農業用水の除染効果」を掲載（31日、農工研）
2月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」平成25年度現地報告会（4日、東北研、於：陸前高田市 岩手農研南部園芸研究室）
	プレスリリース「高精度のため池ハザードマップ作成のための簡易な氾濫解析手法を開発」（28日、農工研）
3月	農林水産省消費者の部屋特別展示「東日本大震災から3年～再生への新たな歩み～」に出版「安全・安心な農産物供給を支える技術開発の取組み」（10-14日、農研機構・農環研・福島県農業総合センター、主催：農林水産省、於：農林水産省）
	生研センター研究報告会において講演「稲摺機での玄米の放射性物質交差汚染に関する実態調査ならびに籾を使ったとも洗いによる放射性物質交差汚染の低減効果」（13日、生研セ、於：大宮ソニックシティ）
	「平成24年度農林水産省関係放射能調査研究年報」（平成26年3月発刊）に「牛乳および飼料中人工放射性核種の定点調査結果」、「福島原発事故後の福島県ならびにその周辺地域における牛乳および飼料中人工放射性核種の調査結果」について掲載（畜草研）
	「食糧-その科学と技術-」（第52号）において「放射性物質の食品への影響研究について」及び「農産物と食品の加工・調理における放射性セシウムの動態」掲載（食総研）
4月	「粘り強い防潮堤」（東日本大震災合同報告 共通編3編）発刊（農工研、発刊：日本地震工学会・土木学会・地盤工学会）
5月	「福島環境回復加速化に向けた地域連携による事業の進展」～福島県における広域対象の可燃物廃棄物減容化・資材化の意義と現状～において基調講演「飯館村における減容化事業の考え方」（除染廃棄物処理に関する飯館村の事例等）（25日、国際農研、主催：一般財団法人日本クリーン環境推進機構、於：東京都 ベザール九段）
	「放射能汚染の現状と課題」において基調講演「飯館村における減容化事業の考え方」～被災住民の理解への取組～（24日、国際農研、主催：日本学術振興会第111委員会、於：早稲田大学）
6月	プレスリリース「地震・津波に対して強靱で低コスト、施工性に優れる「三面一体化堤防」（5日、農工研）
	農業協同組合新聞掲載（web配信）「津波に強い低コスト海岸堤防を開発 農研機構」（9日、農工研）
	日刊工業新聞掲載（web配信）「農研機構など、地震・津波に強い三面一体化堤防を開発」（10日、農工研）
	FOOMA JAPAN2014 アカデミックプラザにてポスター発表「農業および食品製造における膜分離技術の応用」（10-13日、食総研、主催：日本食品機械工業会、於：東京都 東京ビッグサイト）
土地改良情報掲載「農研機構、「三面一体化堤防」を新開発 地震・津波に対する抵抗力が大幅に向上」（16日、農工研）	
「バイオマスエキスポ2014」にてパネル展示「先端プロ 福島資源循環」（16-18日、中央研、主催：日刊工業新聞社、於：東京都 東京ビッグサイト）	
7月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」平成26年度現地検討会（2-3日、東北研、於：仙台市 宮城県民会館・名取市（有）耕谷アグリサービス）
	「東日本大震災に係る食料問題フォーラム2014」において基調講演「農作物の放射能汚染と今後の課題【放射能汚染農地除染と営農再開を考える】」（4日、国際農研、主催：日本学術会議、協賛：東京農工大学農学研究院、於：川内村役場大会議室）
	Cs吸着土壌及び粘土鉱物におけるCs存在状態のX線光電子分光分析、廃棄物減容法における最適条件に関する検討（13日、国際農研、主催：電力中央研究所、於：東京都千代田区 電中研本社）
	JIRCASサイエンスカフェ「放射性物質汚染に関する汚染被災地の現状と課題」（14日、国際農研、於：石巻専修大学）
食料生産地域再生のための先端技術展開事業「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」平成26年度現地検討会（15-16日、東北研、於：岩手県陸前高田市 現地圃場・北上市 岩手県農業研究センター）	

一般消費者や生産者に向けた情報発信（7）

年・月	発信内容
7月	施設園芸・植物工場展2014 (GPEC 2014) 出展「先端プロ『次世代型大規模施設園芸システムの実証研究』の紹介」(23-25日、野茶研、主催：(一社)施設園芸協会、於：東京都 東京ビッグサイト) 「食品危害要因その実態と検出法」((株)テクノシステム)を発行、第2章第7節「放射性物質」を担当(食総研)
8月	日本農業学会第5回EXセミナー（全村避難地域の復興へ向けた除染対策）において講演「福島県飯館村 農作物の放射性汚染と今後の課題【放射能汚染農地除染と営農再開を考える】」(3日、国際農研、主催：日本農業普及学会、於：福島県飯館村) 農業農村工学会大会において「CSMT電磁探査システム」の機器展示・リーフレット配布(26-28日、農工研、主催：農業農村工学会、於：新潟県 朱鷺メッセ)
9月	第9回福島県農業総合センターまつり果樹研究所会場での機械等展示「果樹園の除染技術の開発（樹冠下表土剥土機展示およびパネル展示）」(5-6日、生研センター、主催：福島県農業総合センター、於：福島市 福島県農業総合センター果樹研究所) 食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」農業者を対象とした現地研修会「土地利用型営農技術に係る先端技術普及促進現地検討会」(4日、東北研、主催：宮城県・東北研、於：名取市(有)耕谷アグリサービス) 佐平セミナー（日本原子力研究開発機構成果研究会）において基調講演「放射性物質拡散からこれまでの状況と福島県の農業再生に向けて～住民理解への取組み～」(4日、国際農研、主催：日本原子力研究開発機構、於：日本原子力研究開発機構福島研究開発部門福島環境安全センター) シンポジウム「土壌化学で解く放射性セシウム-土壌鉱物間の反応機構」(11日、中央研、主催：日本土壌肥料学会、於：東京農工大学小金井キャンパス) 東京電力株式会社福島復興本社における講演会において基調講演「放射性物質拡散からこれまでの状況と福島県の農業再生に向けて～被災住民の理解への取組～」(19日、国際農研、主催：東京電力株式会社、於：福島県 東京電力株式会社福島支社) 環境放射能対策・廃棄物処理国際展RADIEX2014出展「農地の除染関連技術」パネル展示(中央研)、放射能プロ「物理除染」における「表土削り前の雑草処理作業」パネル展示(畜草研)、「放射性物質が作土中に拡散した農地における除染技術」、「農地の放射性物質モニタリングシステムの開発」についてパネル展示、農地の放射能モニタリングが可能な測定システムの展示、「除染前後の農地からの空間ガンマ線測定技術」について講演(農工研)、「農地周辺除染機・シールドキャビントラクタの実機およびパネル展示」(生研七)、(24-26日、主催：環境新聞社、於：科学技術館展示ホール) 無線トラクタによる傾斜草地除染作業講習会および表土削り機実演(26日、畜草研、於：福島県芝山牧野)
10月	シンポジウム「放射性物質汚染に関する汚染被災地の現状と課題」（除染農地の安全性評価と風評被害の実態）において講演「福島県の放射能汚染と農業再生に向けて」、「除染と減容化における鉱物の役割」(3日、国際農研、主催：鹿児島大学、於：鹿児島大学農学部) 畜草研所公開ミニ講演「急傾斜草地の除染作業は無線傾斜地トラクタで安全に」(4日、畜草研、於：畜草研) 平成26年度「環境回復の具体化に向けて（JAEA知の結集）」において基調講演「放射能物質拡散からこれまでの状況と福島県の農業再生に向けて～被災住民の理解への取組～」(23日、国際農研、主催：日本原子力研究開発機構、於：福島研究開発部門福島環境安全センター) RADIEX in Fukushima出展「農地の除染関連技術」パネル展示(中央研)、放射能プロ「物理除染」における「表土削り前の雑草処理作業」パネル展示(畜草研)、「放射性物質が作土中に拡散した農地における除染技術—機械化による大規模な水による土壌攪拌・除去技術—」についてパネルおよび試作機を展示(農工研)、「農地周辺除染機・シールドキャビントラクタの実機およびパネル展示」(生研七)(30-31日、主催：環境新聞社、於：郡山カルチャーパーク) 農業施設学会シンポジウム「持続的な農業経営のための放射性物質対策技術—これまでとこれから—の安全・信頼確保のために—」(31日、畜草研、農業施設学会、主催：農業施設学会、後援：農研機構、於：福島県 郡山市民文化センター) 農業施設学会放射能対策シンポジウムにて「農産物での加工・調理による放射性物質の移行」を講演(31日、食総研、主催：農業施設学会、於：郡山市)。
11月	茶の国際シンポジウム2014における講演「茶樹のセシウム汚染とその対策」(10-13日、野茶研、主催：中国茶葉研究所、於：中国杭州) アグリビジネス創出フェア2014出展「農研機構における震災復興研究の取組みの紹介」(本部)、「農地の物理的除染技術体系」(中央研)、「水耕トルコギキョウ栽培の紹介」、「福島花き生産の取組みの紹介」(花き研)、「先端プロ『イチゴとトマトの大規模生産システムの総合実証』の紹介」(野茶研)、放射能プロ「物理除染」における「表土削り前の雑草処理作業」パネル展示(畜草研)、「放射性物質モニタリングシステム(移動台車を含む)」(農工研)、(12-14日、主催：農林水産省、於：東京都 東京ビッグサイト) 草本系バイオマス資源作物公開シンポジウム—エリアンサス・ススキ・ネピアグラスの可能性と今後の展開—にて講演「草本系バイオマスの高温ガス化過程におけるCsの挙動」(14日、畜草研、主催：エリアンサス研究連絡会、於：東京ファッションタウンビル) 平成26年度地域茶業の後継者育成研修会における講演「茶の放射性セシウムの問題」(17日、野茶研、主催：静岡経済連、於：静岡県島田市 野茶研)

一般消費者や生産者に向けた情報発信（8）

年・月	発信内容
11月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究」「キャベツの機械化一貫体系実証研究」現地検討会（21日、東北研、主催：東北研・宮城県農園研、協力：農林水産技術会議事務局・東北農政局・宮城県農林水産部・農事組合法人林ライス・ヤンマー（株）・中央研、於：宮城県農園研・宮城県岩沼市 農事生産法人林ライス）
	長崎大学除染シンポにて「エネルギー・資源循環型営農の方向性について紹介」（24日、中央研、主催：長崎大学、於：長崎大学）
	公開講演「福島県の放射性物質汚染被災地の現状と課題」において講演「福島県の放射能汚染地域の現状と農業再生に向けての課題」、「除染と減容化における粘土鉱物の役割」（24日、国際農研、主催：長崎大学、於：長崎大学）
	平成26年度第4回山間地帯特産指導所主要課題チャ現地検討会における講演「関東近県における茶の放射性セシウムの動態と低減技術の検証結果等について」（28日、野茶研、主催：茨城県、於：茨城県農業総合センター山間地帯特産指導所）
	農工研ニュースに研究成果「農地土壌の放射能分布を測定する空間ガンマ線測定技術」、「放射性物質に汚染された農地に於ける冬期の除染工法」を掲載（30日、農工研）
12月	「放射性物質の吸着・除染および耐放射線技術における材料・施工・測定の新技術」（（株）技術情報協会）を発行、第5章第14節「農産物・食品の加工・調理における放射性セシウムの動態」を担当（食総研）
	JIRCASサイエンスカフェ「放射性物質汚染に関する汚染被災地の現状と課題」（1日、国際農研、於：東京農工大学府中キャンパス）
	シンポジウム「放射性物質汚染に関する汚染被災地の現状と課題（次世代へ向けての技術継承）」において講演「エネルギー・資源循環型営農の方向性について」（中央研）、「福島県の放射性汚染地域の現状と農業再生に向けての課題【直轄除染エリアの除染廃棄物処理と農業再生】」、「鉱物が及ぼす除染・減容化への影響」（国際農研）（11日、主催：九州大学、於：九州大学農学部）
総説：東日本大震災後の園芸産業の復興—現状と未来への提言—、園芸学研究（野茶研）	
平成27年	焼却処分、放射性物質研究開発課題講演会（13日、国際農研、主催：電力中央研究所、於：東京都千代田区電中研本社）
1月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「技術・経営診断技術開発研究」—大区画圃場での高能率作業による稲—麦—大豆2年3作水田輪作体系—平成26年度展示圃場試験成績検討会（22日、東北研、於：宮城県松島町新富亭）
	プレスリリース「研究者からみた東日本大震災と復旧・復興—農地・農業用施設等の被害調査と地域支援—を刊行」（28日、農工研）
2月	日本食品科学工学会誌（（公）日本食品科学工学会発行）において「国内農畜水産物の放射性セシウム汚染の年次推移と加工・調理での放射性セシウム動態研究の現状」を総説として紹介（食総研）
	プレスリリース「農地や環境中の放射線を迅速に測定する装置の開発」（6日、農工研）（7日、農工研、NHKニュース地方版で放映）
3月	農業の復旧・復興のための研究成果報告会～再生期における高収益農業実現のための技術開発～（3日、東北研、主催：宮城県農園研・古川農試、於：名取市 宮城県農園研）
	農林水産省消費者の部屋特別展示「未来につなぐ東北のめぐみ」に出展「農研機構における放射性物質対策研究の紹介」（本部）、サイエンスカフェ開催「加工・調理でも減るの？！食品中の放射性セシウム」（9日、食総研）、「カリウムの意外なチカラ 放射性セシウムの封じ込め」（13日、東北研）（9-13日、主催：農林水産省、於：農林水産省）
	農林水産省消費者の部屋特別展示「未来につなぐ東北のめぐみ」に出展「放射性物質の動態解明（農地土壌の放射性セシウム濃度分布）」（9-13日、農環研、主催：農林水産省、於：農林水産省）
	農林水産省消費者の部屋特別展示「未来につなぐ東北のめぐみ」においてサイエンスカフェ開催「放射性物質汚染からの農業復興をめざして！ 元飯舘村職員が見た現実と未来」（12日、国際農研、主催：農林水産省、於：農林水産省）
	第3回国連防災世界会議におけるパネル展（14-18日、農工研、主催：農工研・東北農政局・宮城県・仙台市 水士里ネット宮城、於：仙台メディアテーク）
	プレスリリース「地下水質を保全する二重揚水技術を開発」（24日、農工研）
4月	「平成25年度農林水産省関係放射能調査研究年報」（平成27年3月発刊）に「牛乳および飼料中人工放射性核種の定点調査結果」、「福島原発事故後の福島県ならびにその周辺地域における牛乳および飼料中人工放射性核種の調査結果」について掲載（畜草研）
	「土を深く細かく耕すと牧草の放射性セシウム濃度が低くなる」、パネル掲示及び説明（18日、畜草研、主催：青木農業祭実行委員会、於：栃木県那須町 青木サッカー場）
6月	第12回 日本放射線安全管理学会公開シンポジウム「福島農業再生に向けての課題」において講演（18日、国際農研、主催：日本放射線安全管理学会、共催：日本保健物理学会・放射線安全フォーラム、於：東京都 東京工業大学大岡山キャンパス）
	第9回JIRCASサイエンスカフェ「放射能汚染災害の現状と課題」（23日、国際農研、主催：国際農研、共催：東京農業大学、於：東京都 東京農業大学世田谷キャンパス）
7月	プレスリリース「異なる耕うん方法での草地除染効果 —深く、土を細かくする耕うんの効果が高い」（26日、畜草研）
	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「土地利用型営農技術の実証研究」平成27年度現地検討会（14日、東北研、主催：東北研、於：名取市（有）耕谷アグリサービス）
	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」平成27年度現地検討会（30日、東北研、主催：東北研、於：岩手県陸前高田市 現地圃場）

一般消費者や生産者に向けた情報発信（9）

年・月	発信内容
8月	園芸学会東北支部会公開シンポジウム「次世代施設園芸による宮城の園芸生産の復興と発展」にて、寒冷地の気象条件を活用した施設栽培技術の開発と先端婦技術展開事業における取り組みについて基調講演（31日、野茶研、主催：園芸学会東北支部会、於：フォレスト仙台） 農村工学研究所ホームページの「東日本大震災への農村工学研究所の対応」をリニューアル
9月	プレスリリース「FRPM管の継手部の離脱を防止する技術を開発」（14日、農工研） 岩手先端プロ「ブランド化を促進する野菜の生産・加工技術の実証研究」内における新タイプキュウリの試験販売（15日-10月15日、野茶研、於：岩手県 イオン系列スーパーマーケット2店舗） 公開シンポジウム 東日本大震災からの地域と農業の復興「放射性物質汚染からの農業復興を目指して」において講演（16日、国際農研、主催：農業環境工学関連5学会合同大会実行委員会・岩手大学三陸復興推進機構、於：岩手大学学生センターC棟） 第10回JIRCASサイエンスカフェ「福島県の実態！ 放射性物質汚染の現状と地域再生の課題」（28日、国際農研、主催：国際農研、共催：三重大学、於：三重大学 環境・情報科学館）
10月	プレスリリース「土壌中の深さ別の放射線を測定する装置を開発- 深さ別の放射能分布の推定が短時間で可能！ -」（8日、農工研・水土里ネット福島・応用地質） 農業農村工学会東北支部「第48回支部研修会」において「放射性物質拡散からこれまでの現状と福島県の農業再生に向けて」講演（27日、国際農研、主催：農業農村工学会東北支部、於：福島県 コラッセふくしま） 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター農・環境復興支援部門シンポジウム「ふくしまの食品・農業・環境の未来を創る」において講演（28日、東北研、主催：福島大学、後援：福島県・東北研・地産地消運動促進ふくしま協同組合協議会、於：福島市 コラッセふくしま） 平成27年度農研機構畦畔管理技術情報セミナーにて食料生産地域再生のための先端技術展開事業「中小区画土地利用型営農技術の実証研究」における「畦畔省力管理技術の実証成果」を紹介（29日、近農研、主催：近農研、於：広島県 東広島市市民文化センター）
11月	食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究」平成27年度現地検討会 加工・業務用ホウレンソウ分科会機械収穫実演および研修会（4日、東北研、主催：東北研・宮城県農園研、協賛：株式会社キセキ関東、於：宮城県岩沼市 農事生産法人林ライス圃場） 平成27年度青果物流通システム高度化事業 加工・業務用野菜生産振興研修会・食料生産地域再生のための先端技術展開事業「露地園芸技術の実証研究」現地検討会（4日、東北研、主催：野菜流通カット協議会・宮城県・東北研、協賛：日本施設園芸協会・青果物選果予冷施設協議会、於：宮城県岩沼市 農事生産法人林ライス圃場・岩沼市民会館） 農研機構中央農研市民講座「宮城県・津波被災地の復興に向けた取り組み」（14日、中央研、主催：中央研、於：つくば市 食と農の科学館） アグリビジネス創出フェア2015出展「農研機構における震災復興研究の取り組みの紹介」（18-20日、農研機構、主催：農林水産省、於：東京都 東京ビッグサイト） アグリビジネス創出フェア2015 農食研究推進事業平成27年度研究成果発表会「農業用パイプラインの長寿命化・耐震対策技術の開発」（20日、農工研、主催：農林水産省、於：東京都 東京ビッグサイト） 食品に関するリスクコミュニケーション-食品中の放射性物質に関する理解のために-「放射性物質汚染からの農業復興を目指して！【～元飯館村職員が見た現実と未来】」講演（28日、国際農研、主催：消費者庁、共催：厚生労働省・農林水産省・勝山市、於：福井県 勝山市福祉健康センター「すこやか」多目的ホール）
12月	平成27年度食料生産地域再生のための先端技術展開事業 施設園芸・未利用エネルギー合同研究成果伝達会「東日本大震災からの復興に向けた施設園芸の取り組みと今後の課題」（3-4日、農工研、主催：岩手県・福島県・宮城県・農研機構・農業施設学会、於：宮城県 岩沼市民会館） 事例紹介「地震・津波に粘り強く抵抗する海岸堤防の新技術」（4日、農工研、主催：全国海岸事業促進連合協議会、於：東京都 砂防会館） 福島の未来と問題の変遷「農地除染と移行低減対策、4年の月日でみえてきたこと、除染廃棄物の現状と課題」（11日、農研機構・国際農研、主催：長崎大学、於：長崎県 長崎大学良順会館） 畜産農家段階放射性物質モニタリング体制構築事業産地指導者養成研修会にて講師（11日、畜草研、主催：畜産経営支援協議会、於：仙台市） 畜産農家段階放射性物質モニタリング体制構築事業産地指導者養成研修会にて講師（15日、畜草研、主催：畜産経営支援協議会、於：福島県西郷村 家畜改良センター）
平成28年 1月	宮城発の美味しい魚介類で新たな介護食の開発を！（水宮3-01プロの成果の講演と試食）（22日、食総研、主催：東京海洋大学、後援：宮城県水産技術センター、於：宮城県 気仙沼市魚市場3階会議室）
2月	SATテクノロジー・ショーケース2016にてポスター出展「地下水質を保全する二重揚水技術を開発」（4日、農工研、主催：つくばサイエンス・アカデミー、SATテクノロジー・ショーケース2016実行委員会、於：つくば市 つくば国際会議場）
3月	「平成26年度農林水産省関係放射能調査研究年報」（平成28年3月発刊）に「牛乳および飼料中人工放射性核種の定点調査結果」、「福島原発事故後の福島県ならびにその周辺地域における牛乳および飼料中人工放射性核種の調査結果」について掲載（畜草研）

(2) 自治体との連携・協力

これまでお示したように、農地や農産物等の汚染状況の把握、農地土壌の除染技術および放射性物質の農産物等への移行制御技術の開発には、被災各県の試験研究機関との情報共有や共同研究などの連携・協力を取り組みました。その成果の一部は、農林水産省を経て国の技術的な対策のガイドラインや県の対策マニュアルなどに活用されています。また、平成24年度から農業放射線研究センターを農研機構・東北農業研究センターの福島研究拠点に設置し、被災現地に密着した試験研究・技術開発を関係機関と連携して取り組むこととしました。特に、福島県とは、平成25年4月に東日本大震災の被災地域における営農再開・農業再生に向けた研究推進に関する基本協定を締結し、相互に研究資源の活用を図りつつ、放射性物質対策のみならず、地震・津波被害対策、新たな農業展開に向けた先端技術導入などを総合的に進めることにしました。

放射性物質対策に関連する農地除染、農業被害軽減、汚染環境回復、除染により発生する廃棄物の仮置き、廃棄物の減容化対策など様々な分野の調査研究は、現地で実証的に実施することが必要不可欠であり、そのための多くの取組（国、地方自治体、研究機関、大学、民間企業）が、被災地の市町村に集中しています。

一方、警戒区域や計画的避難区域に指定された地域の住民の方々は、避難を余儀なくされるなど、原子力発電所の事故は住民の生活、市町村等の自治体の運営を一変させるものとなりました。

このような状況の中で各種の調査研究や対策事業が特定の地区などに集中する場合、多くの取組について相互調整を行った上で国レベルでの対策の全体像、全体の工程スケジュールなどを、直接住民に説明して納得していただく体制の整備と努力が必要です。

こうした認識に基づき、技術的指導の面から自治体を支援することで、より円滑な事業、調査研究活動を実施するため、自治体からの要請及び農林水産省農林水産技術会議事務局からの依頼により、国際農林水産業研究センターが研究職員を自治体へ派遣した福島県飯舘村の例を紹介します。

職員の派遣により、現地調査や試験研究の必要性、試験適地の選定を適切に住民へ説明することが可能となり、窓口が一元化され自治体職員や住民との連携が図られ、国や研究機関と自治体の関係改善を行うことができ、より効率的な試験研究や実証試験を実施することができました。しかし、町村議会や農業委員会、住民から寄せられる農林水産関係の問題が派遣職員に集中するほか、以前にもまして関係省庁が進める除染や減容化の研究課題、民間や大学から提案される除染技術などを調整する業務も増加する傾向にあるなどの課題もありました。

被災自治体では、被災避難住民への平時の行政サービスに加え、生活支援、復興・復旧業務に日々取り組んでおり、自治体職員だけでは十分な対応が極めて難しい状況です。そのため、対策事業や試験研究を実施するだけでなく、自

治体側へのサポートを行うこともより一層重要となっています。このような現地での状況なども踏まえ、農林水産省においては職員で構成する現地支援チームを編成して、市町村役場を訪問するなどして現地の意向把握、復旧・復興対策の周知徹底等の市町村への支援を行っています。